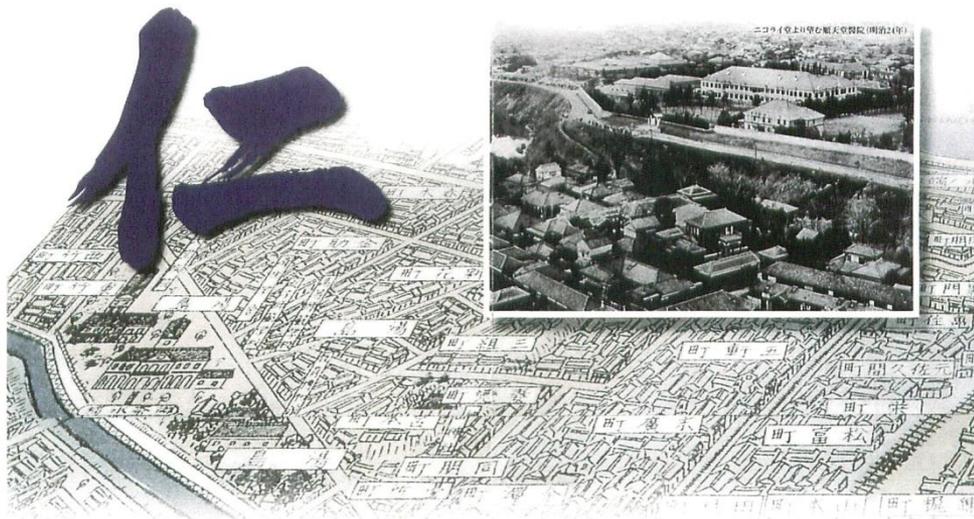


Opening remarks



第56回 The 56th Annual Meeting
of the Japanese Society of Nephrology

日本腎臓学会学術総会



新潟ノ木地区 明治20年 東京・日新町

『腎臓病学の国際化と地域化』

～仁をもって対峙する～

2013年 5月10日(金)～12日(日)

会 場：東京国際フォーラム

総会長：富野 康日己（順天堂大学大学院 医学研究科 腎臓内科学 教授）

事務局長：堀越 哲（順天堂大学医学部 内科学教室・腎臓内科学講座）

<http://jsn56.umin.jp/>

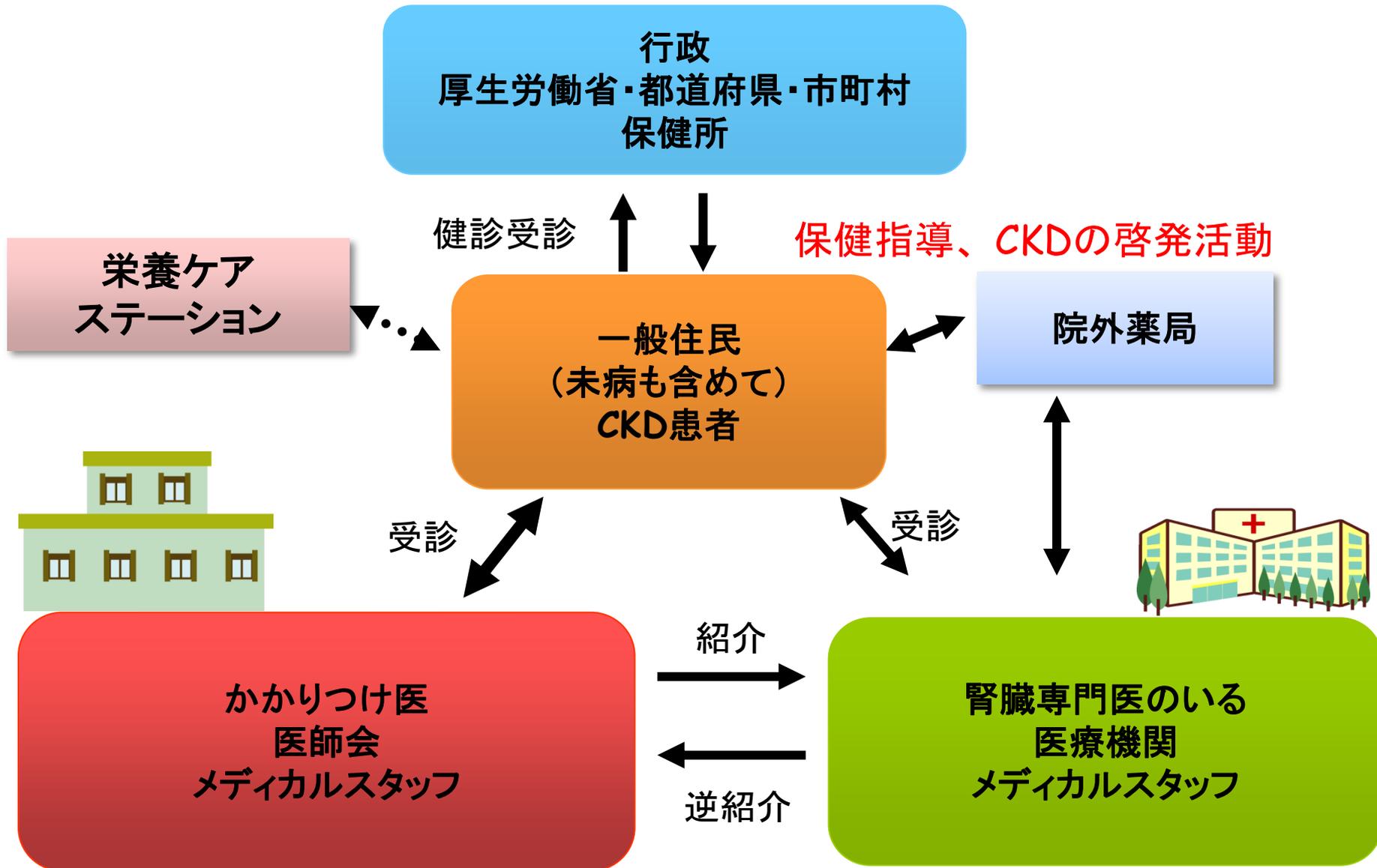
（お問い合わせ先）

第56回日本腎臓学会学術総会運営事務局

〒113-0033 東京都文京区本郷3-26-8 日内会館2F 社団法人日本腎臓学会内

TEL:03-5842-4131 FAX:03-5802-5570 E-mail:jsn56@umin.ac.jp

CKD患者の福音のために連携が重要である



CKDの病診・病病連携－腎臓専門医の役割

- CKDの病診連携における腎臓専門医の役割：From-J研究での知見を踏まえて－ 地域連携ミーティングによるCKD重症化予防
- 日本医師会の取り組み（非腎臓専門医と腎臓専門医の連携）
医師会が中心となったCKD連携システムの構築
- 日本臨床内科医会の取り組み
“かかりつけ内科医”から見たCKD臨床の実態，地域連携の現況
- 渋谷区におけるCKD地域医療連携の取り組み
かかりつけ医が紹介できるCKD病診・診診連携アクセスポイント増加の取り組み
- 地域医療を担う医師主導による連携
腎臓専門医を有す“かかりつけ医”が果たす，地域医療におけるCKD対策・治療
- 腎臓医とメディカルスタッフによるチーム医療を用いたCKD治療の理念・実際と効果
CKDチーム医療による腎機能改善外来

討論テーマ：現状分析から10年後を見据えて

本邦のqualityの高い腎臓医療を病診・病病連携を通じて
一層の患者の福音とするために...

- 専門医がはたす役割

大学病院・基幹病院の専門医とかかりつけ医である専門医

最終的な腎予後改善、心血管病変阻止、生命予後改善への役割

- 専門医からみた課題

透析施設

チーム医療

- 非専門医からみた課題

医師会の活動

日本臨床内科医会アンケートからみえるもの
